

# 葉栗連区 令和5年2月 地域づくり協議会だより 76号

発行日：令和5年2月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

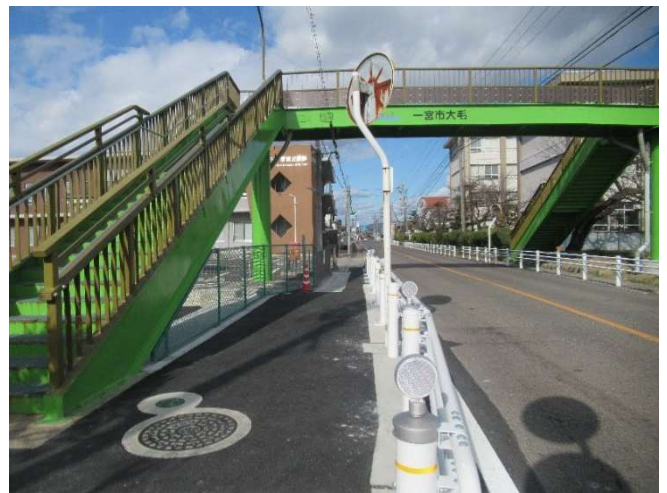
葉栗連区の人口と世帯数 <2023.11 現在> 人口 16,355人（男 7,985人 女 8,370人）世帯数 6,835世帯

## ☆ 葉栗公民館南の歩道が通りやすくなりました ☆

歩道がクランクになっており、通行に不便を感じていた葉栗公民館南の歩道が、地域の要望により改修工事が行われ、この度完成し通りやすくなりました。

10 数年前から要望していましたが、歩道の下には用水が流れており、各種のケーブル線がありました。また、県道沿いのため工事着工に時間がかかっていましたが、この度関係各位のご尽力により工事完了の運びとなりました。

県道沿いのため交通量があり、交通安全を心がけ、事故のない生活歩道として活用をお願いします。



新しくなった歩道



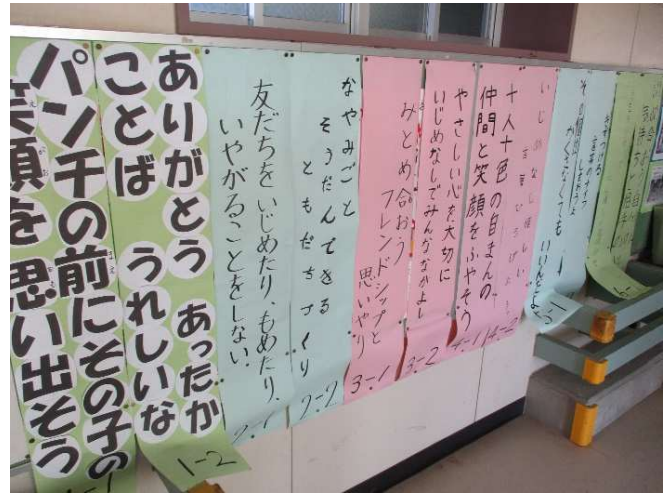
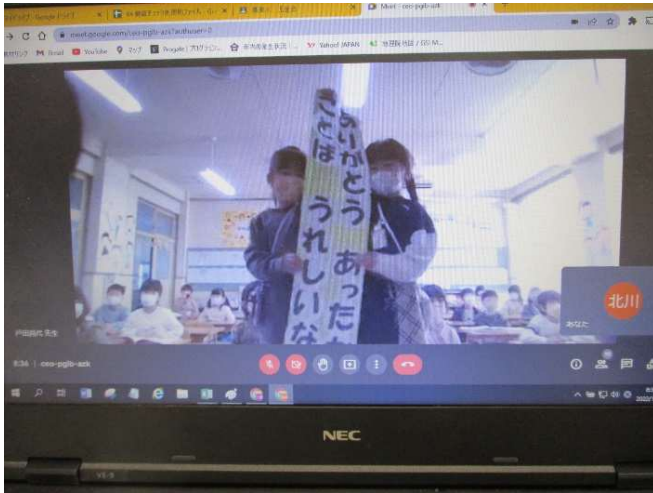
工事中の歩道

## ☆ 人権週間の取り組み 葉栗小学校 ☆

12月9日(金)に人権集会を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの集会でした。11月の中旬から各クラスでいじめをなくすためのスローガンづくりを行い、大きな短冊に書きました。各クラスで考えたスローガン「ありがとう あったかことば うれしいな」「十人十色のじまんの仲間と笑顔をふやそう」などを、集会では一クラスずつ発表しました。

その後、校長先生から人権についてのお話がありました。いじめでは、当事者だけでなく、周りにも、止める勇気が必要であることを話されました。各教室ではみんな真剣に聞いていました。

《寄稿：葉栗小学校》



## ☆ おてらの掲示板 庚申寺(杉山) ☆



庚申寺は、杉山のお宮や公民館の北にある尼寺です。70余年住職を務めた庵主様が他界され、現在は本寺の白鳥山法持寺(名古屋市熱田区)の住職が兼務してみえます。

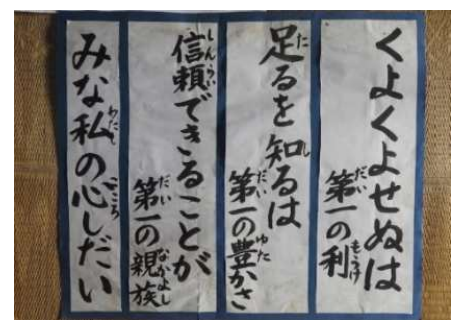
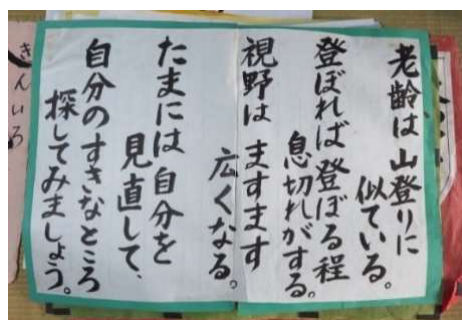
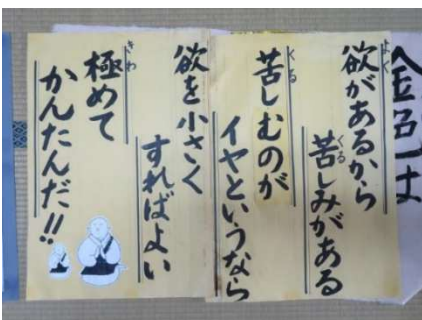
お寺を管理している隣に住む野田三保子さんは、境内を掃除しながら自分自身、心安らかに生きていきたいという気持ちから、講話や新聞記事の一言を書きとめ、掲示板に張り出すようになったそうです。

また、地域の人たちが、不安や心配事を解決するヒントとして活用していただいて、穏やかな日々を送ってほしいという思いからだそうです。

門前を通る人が「いいことが書いてあるなあ」、また「これがやれんだわ」と、じっと立ち止まって読んで

いる人、中には写真に撮っている人や自転車を止めてメモをしている人など、みなさんの姿に励まされ10日ぐらいに一度張り替えている間に、早や10年がたったそうです。掲示物の一部を紹介します。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

※庚申寺の場所：杉山バス停から北へ20m先を東へ300mの道路北側にあります。



## ☆ もしもの時に 日頃からの心構え 防災訓練：西山町内会 ☆

12月18日（日）午前9時30分、西山町内会集会所で葉栗消防出張所の協力により、初めての防災訓練が行われました。

西山町内会は、395世帯の集合住宅として年々高齢化が進んでおり、もしもの時に隣人同士の自助、共助により、いかにして安全を確保するのかを学びました。

消防署員から避難梯子の確認、逃げるルートの確認、隣との間仕切りボードの撤去方法などを学び、AEDの使用方法、胸骨圧迫方法、毛布を使つての搬送方法、消火器の使い方など、参加者40名は、初めての訓練に真剣に取り組みました。

西山町内会では、これを契機にして毎年防災訓練に取り組んでいく予定です。

各町内会でも自主防災組織の確立を行い、自助、共助で安全確保をお願いして頂きたいと思います。



## ☆ 大志連区防災訓練に参加しました ☆

12月4日（日）、葉栗連区地域づくり協議会から4名が、大志小学校屋内運動場での第6回大志連区防災訓練に視察研修を兼ねて参加しました。

同連区での防災訓練は、自主防災会連絡会及び自主防災リーダー会の皆さんが中心となって約80名で開催されました。

主な訓練内容は、①避難所での受付実習、②パーティション及び簡易ベッドの組立実習、③簡易トイレ使用実習の3点。

防災訓練を通じて、大志連区の防災訓練マニュアル、防災リーダーがしっかり機能していることを感じました。葉栗連区においても今後の防災訓練の一助にしていきたいと思います。





# 河野栄泉寺



## ☆ 地域に根差して = 河野栄泉寺 = ☆

河野栄泉寺。場所は138タワー通り（県道150号線）大毛交差点を北へ200m、葉栗消防出張所手前東側にあり。本尊は阿弥陀如来（木像立像）。

当寺創立は白鳳6年（677年）、天武天皇の時代に庵入姫（景行天皇の皇女・五百入姫）の末孫栗本源太夫国政が祖先菩提を基に建立する。

庵入姫（五百入姫）は島村の若栗神社西の宇夫須那神社の地で誕生、幼少期は栄泉寺の地で過ごしその後、都へ行き老後は古栗の栄泉寺に戻り亡くなった。大毛神社へ庵入姫の墓地として合祀され、この塚一帯を「大字大毛字五百入塚」と称し、当寺院の山号もここから庵入山となっている。

嘉禎元年（1235年）親鸞聖人が東国（関東）より帰京の際に、三河国に立ち寄り、そこで教化を受けた尾張国葉栗郡門間庄（現、岐阜県羽島郡笠松町）の方々が後に河野九門徒と称する事となる。

その当時の栄泉寺住僧、法輪坊舜天もその一人であり、後に河野九門徒と称し舜天は教海坊了源と名を賜り、当山開基となる。ここに河野栄泉寺の起源をみる。河野九門徒とは尾張国葉栗郡にある、親鸞・蓮如にゆかりのある九つの寺院の総称である。「河野」とは河野村が尾張国葉栗郡河沼郷内にあったことが河野と称する由緒である。

その後、慶長年間、本願寺東西分派の折り、大谷派は七ヶ寺（内ヶ寺は竹鼻別院となる）、本願寺派は二ヶ寺がそれぞれ帰属する。法暦年間、本願寺第十八代從如上人が由緒を再興して以来、現在では河野六坊（大谷派寺院）と称する。

当寺院では親鸞聖人の教えに出遇っていただくことを願いに年間行事として、春秋の彼岸法要・夏季の夏御文法要・冬季の報恩講法要・初鐘（除夜の鐘）・修正会（元旦）を勤め、多くの方にお越しいただけるよう、時には音楽イベントを開催し、名古屋場所の相撲部屋・宿舎提供や災害時の一時避難所として解放し、地域社会に根差したお寺を目指しています。



「庵入山 王家院 河野栄泉寺」(河野栄泉寺)



庵入山の山号が書かれた栄泉寺本堂の棟（上）



【お相撲さんがやってきた～  
昨年夏、名古屋場所の稽古場及び宿舎  
として提供された河野栄泉寺】(右)